

平成22年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

担当研究科名				農学研究科		授業の場所		農学研究科農学生命棟 セミナー室1	
授業科目名				農学特別講義 Special Lecture of Plant Production Science		講義担当者 所属・氏名		農学研究科 農学専攻 教授・ 白岩立彦、土井元章、米森敬三、富永達、 稲村達也、裏出令子、松村康生、北島宣、 未定	
配当 学年	修士	単位 数	2単位	開講 期	後期 (開講10月6日)	曜時限	水曜1限	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕									
<p>農作物および園芸作物の生態系と調和した効率的・安定的な生産と品質の向上の基礎、作物の環境と関連した生理生態的特性の究明、遺伝的変異の探索と遺伝分析、持続的な耕地環境およびその制御・維持に関わる技術の追求、食料・飼料としての品質の評価・設計などに関する学際的知識の習得を目指す。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 21世紀における地球規模の重要課題である食料は、農学、生命、資源、エネルギー、地域社会、情報、文化など、文系と理系を横断する全てに関わっている。この授業科目では、これらの課題に対処し、人類の福祉の向上と持続的な繁栄に貢献することを目指した研究とその基礎知識を紹介し、文系、理系のそれぞれの分野の修士課程において、これらの問題に対応するための十分な知識を提供することを目指している。</p>									
〔授業計画と内容〕									
<p>以下のような課題について、1 課題あたり1～3 週の授業をする予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作物環境生理、作物生産生態について 2. 作物における有用遺伝子の探索・同定とゲノム多様化機構 3. 蔬菜花卉園芸、園芸生産環境調節について 4. わが国の果樹園芸の特徴と課題 5. 雑草の生物学および雑草の管理に関する今日の課題 6. 耕地生態系における物質循環と持続性 7. 品質設計開発、品質評価について 8. 植物生産技術、生産管理について 									
〔履修要件〕									
<p>生物学、植物生理学などの基礎的な知識を習得していることが望まれる。</p> <p>受講生を抽選により50名に制限する予定。 第1回講義に必ず出席すること。</p>									
〔成績評価の方法・基準〕									
出席点、小テスト、小レポート、授業内での発言等から総合的に評価する。									
〔教科書〕									
特に指定しない。									
〔参考書等〕									
講義において資料を配布する。									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									
授業の曜日時限は、後日掲示する。									